



拡径作業を体験

新型分水栓で講習会

富田林市上下水道部
拡径作業を電動化

富田林市上下水道部は12月28日、同市の送配水管理センター(旧甲田浄水場)で新型分水栓講習会を開催した。同市および堺市の職員、富田林市内の管工事業者が参加し、新型分水栓「3D SEAL分水栓」のメーカー・YONEが新たに開発した電動拡径機を用いて施工を体験した。

新型分水栓は、配水管への穿孔後、ステンレススリーブを挿入し拡径して固定する構造になっている。穿孔部をシールするゴム輪は、曲げ振動に対して弾性力を発揮する。同社は、1万回の繰り返し曲げ試験を実施し、外部への漏水が発生しないことを確認している。

従来の手動拡径機は操作にある程度の力が必要であることから、高齢の施工者等から電動化の要望が出ている。

当日は、同社の社員がデモ施工した後、管工事業者が施工を体験。施工へのケートバルブの取り付けと穿孔、拡径機の取り付けと電動による拡径を行った。

同市は昨年度、86カ所の給水工事で試験施工を実施。試験施工は今年度も行う予定という。

て固定する構造になっ
ている。穿
孔部をシー
ルするゴム
輪は、曲げ
振動に対し
て弾性力を
発揮する。
同社は、1
万回の繰り
返し曲げ試
験を実施
し、外部へ
の漏水が発